

木オだよソ

社会福祉法人 東香会

しぜんの国保育園 small village

Oct. 2023



法人理念

いきいき

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 持続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

10月主題 心になじむ あかね色の空

少しだけ秋の気配を感じる季節になりました。しぜんの国では、きゅうえんしゃに棗が実りほのかに色の变化も見られます。お寺は今年栗が豊作です。自然の中で暮らしていると、そんな季節のうつりかわりを感じる機会がふえますね。

先日築田寺で「YATOの縁日」が開催されました。小学生の民舞から始まり、若手バンドのライブ、バグパイプの演奏とお餅つき、そして盆踊り。最後はYATOっこたちによる影絵。その周りには、地元のおいしい、うれしい飲食の出店。

大人もこどもも赤ちゃん。そして多感なティーンたちも。混ざり合って生みなす風景。私たちの目指す風景の片鱗があちらこちらにありました。

2014年にしぜんの国保育園は「smallvillage」という副題をつけて新園舎が生まれました。その志が10年をかけて少しずつ芽吹いています。しぜんの国という縁で出会った皆さんと、「今」も、そして卒園しても、一緒に過ごせるような、そんな共同体をこれからも試行錯誤しながら作っていきたいです。



かこさんがさらっと
紙コップに
描いてくれました！

園長 齋藤美和

じむしょ 小窓 だより

ちょうど1か月前から始めているのが、エントランス前でのマテリアル集め。マテリアルとは、普段は家庭や企業で廃棄されてしまうものに新しい視点に向けて生み出された素材のこと。

そのマテリアルを違った視点からみると新たな発見が生まれることを面白がること、そしてその視点から新たに生み出されていくことをクリエイティブリユースと呼んで、今しぜんの国の子もたちや保育者として出会いの場を広げ、楽しんでいる日々です。

マテリアルの中には大きなものもあり、例えば電子レンジやスピーカーなども含まれます。私たちはその電子レンジに対して何も疑問は持たず温める家電として、スピーカーは音が出る機器として利用しています。しかし、1つ視点を変えて見た時にその「電子レンジやスピーカーはどのようなモノが集まって出来ているのか」気になってきませんか？そこで先日、解体・分解の会というものを保育者・保護者も交えて楽しむ機会をつくり実施しました。

その会に集まったのは総勢25名の大人や子どもたち。

解体・分解するマテリアルの他に給食室手作りのキンパや飲み物、お菓子などが机に並び、さらにはDJブースも。少し異様にも感じる空間ではありましたが、なんだか起こりそうという雰囲気を感じられるような場となっていました。一人ひとりが工具を持ち、マテリアルと向き合い、ねじをくるくる。時には大きな音でカンカンと金属音も。1人で向き合う姿もあれば、大きなものに数名で取り組む姿もありました。「よし！あと少し」「ここなかなか外れない」などと耳を澄ましていると聞こえてきます。

大きなマテリアルが解体されていくのを横目にキンパを食べる幼児組の子や、DJブースからの音にふと揺れだすつぼみ組の子など様々なところで巻き起こっている時間が私はとてもわくわくし、自然と笑みがこぼれていました。それはその場の他の大人も子どもも。

時間が流れていく中で、「解体終わった」と持ってきた保育者。その解体したのを見て「まだこれ、さらに分解できそう」と声を掛けたのは幼児組の子。マテリアルを見る人が変わること、解体・分解がされていく強弱が変わる面白さを感じました。いつしか「あれ、ここもまだかな」と一人ひとりの言葉にも変化が出てくるようになりました。

解体・分解とは何かという話から始まり、実際にやってみることで今まで使用していたものの1つ1つに疑問や不思議が芽生えたり、作り手側の気持ちを考えるようになったり…。今回初めて行った解体・分解の会ではありましたが、新たな発見と他では感じられない学びや出会いの場になったように思います。

その時の写真も添えて…。

マネージャー 柳澤祐希



村の春夏秋冬 ～季節のたより・10月～

秋の便りをあちらこちらで感じられるようになってきました。

車を走らせていると、田んぼの稲が少しずつ収穫に向けて成長しているのを見ることが出来ます。また、この時期はお祭りの開催も多くあります。どうして秋にお祭りをするのでしょうか？

田の神様は、秋のお米など収穫が終わると山へ帰り山の神様になる。そして春になれば山をおりて田の神様に再びなると言われています。田の神様に収穫の感謝をし、田の神様を送り出す行事として祭りが各地に浸透していたそう。（諸説あり）

また神様も一緒にお祭りを楽しむと考えられていて、神様をもてなすために音楽や踊りを披露するようになり、神楽・田楽・能が生まれたそうです。

さて、この秋しぜんの国でもお祭りを開催します。

『しぜんの国のひろば祭り』のお知らせです。

10月7日（土）10:00～ きゅうえんしゃにて。

紘良さん率いるCOINNのLIVEも！！ぜひご家族で、秋の祭りを楽しみませんか？

申し込みはフォームへ→ <https://forms.gle/yQYMfRhst82nfxLg8>

保育者 リレー エッセイ

今月の担当は給食室のルーキー多田明日香さんです。

【いつも美味しい給食をありがとうございます。9月の誕生会では明日香さん発案のメロンケーキが出てきて、とても美味しかったです。今まで食べてきた料理の中で、心に残った・感動した料理やその時のエピソードを教えてください。】

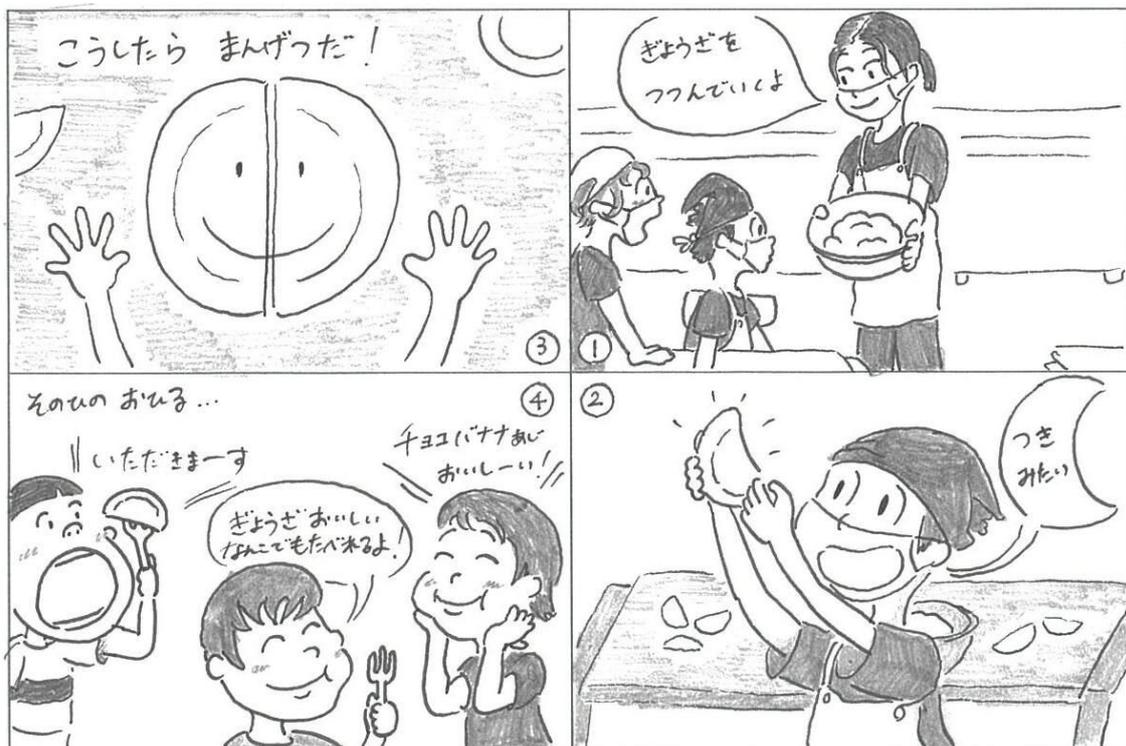
上島さん、バトンをありがとうございます。私の心に残った・感動した料理というと、外食に行くたびに「こんなに美味しいものがあるんだ」と毎回感動してしまうのでなかなか一つに絞れないのですが、すぐに思いつくのは、実家で食べていたご飯でしょうか。心に残っているというより思い出の味になるかもしれませんが、両親や祖母が作ってくれたご飯が大好きです。母の料理はもちろんのこと、祖母や父が作ってくれたご飯も大好きで、よくお願いして色々作ってもらっていました。なかでも心に残っているのは私が小学生の頃、父が毎朝作ってくれた卵焼きです。母が仕事で朝早くに出ることが多かったので、私の朝食は父が毎朝作ってくれていました。メニューは決まって白いご飯と卵焼きです。「毎日卵焼きなの!？」と当時は思っていました、飽きないように色々アレンジしてくれていました。ある日お麩が入っていたことがあって、お麩まで入れちゃうんだ!とびっくりしたのを今でも思い出します(笑) そんな変わったアレンジもある卵焼きですが、今では父の味付けが我が家の卵焼きの定番になったほど、大好きな料理です。しぜんの国の一員になり、おいしい給食を毎日作れることがとても幸せだなと感じています。子どもたちにも給食が毎日の楽しみになってくれればよいなと思っています。

次回は・・・いつも柔らかい雰囲気のはづきさん。その穏やかさの秘訣や休日のリフレッシュ方法などあればぜひ教えてください。

かみじまのんびり 漫画劇場

「ぎょうざクッキング」

文・絵 かみじまたるひ



INFO

たるおじさんの紙しばい新作「どうぶつさん」 YouTubeにて公開!

<https://www.youtube.com/watch?v=EUfgsOWI6Y4>